

<常設展「していみゆーで発見！岡山の魅力！」関連企画>

2026年2月21日（土）



岡山シティミュージアム 開館20周年記念
上映会 シリーズ 映像で振り返る
岡山の「昭和100年」第9回



令和8（2026）年は、1926年12月25日に昭和天皇が即位し「昭和」が始まってちょうど100年になります。岡山シティミュージアムでは昨年9月から10回シリーズの上映会「映像で振り返る岡山の『昭和100年』」を開催。当館が制作・発掘・収集した、地域に根ざした映像作品群を上映し、岡山市の「昭和」「平成」「令和」の三つの時代、100年にわたる歴史を振り返ります。

第9回は「古代吉備文化の継承 —探訪 吉備路の古墳群—」。岡山は全国的に見て古墳が多いことから「古墳県」とも呼ばれます。戦乱や「昭和」の時代に進められた開発による破壊を免れ、先人たちから伝えられた、岡山市民の誇り—吉備路に点在する古墳群—の魅力を映像でたっぷりとご紹介します。

第9回上映会「古代吉備文化の継承」

開催日：令和8(2026)年2月21日(土)

会場：岡山シティミュージアム 4階講義室

開場：13:30 開演：14:00 終了予定：15:30 の見込み

* 参加無料。定員 70名。(予約優先)電話でお申し込みください。

受付開始：令和8(2026)年1月29日(木)10:00～

主催：岡山シティミュージアム

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1 リットシティビル南棟4階・5階

申し込み・問い合わせ用電話：086-898-3000(10:00～18:00、休館日を除く)

＜上映予定の主な映像作品＞

■「造山古墳 発掘調査の歩み」



企画・制作 岡山シティミュージアム
完成 令和 5 (2023) 年 12 月 27 日
長さ 14 分 29 秒

(内容)岡山市北区新庄下にある造山古墳は、墳丘の長さ 350m、日本第 4 位の大きさを誇ります。岡山市教育委員会は平成 28(2016)年度から継続してこの超

巨大古墳の発掘調査を行い、その実像が次第に明らかになってきています。この作品は、岡山シティミュージアムが保存する平成 30(2018)年以降毎年撮影した発掘調査の映像、ドローンによる映像、ヘリコプターからの映像、令和 4(2022)年に後円部墳頂から出土した、埋葬施設の一部の可能性もある 7 枚の板石の映像などから構成しています。

■「直弧文を救おう!!～千足古墳石障保護措置～」



企画・制作 岡山シティミュージアム
完成 平成 24 (2012) 年 12 月
長さ 16 分 20 秒

(内容)千足古墳は造山古墳から南西に 200m のところにある、造山古墳の陪塚（造山古墳の埋葬者の親族や家臣の埋葬施設）の一つと考えられる、古墳時代

中期、5 世紀前半に築かれた墳丘長 81m の前方後円墳です。石室から古墳時代を代表する装飾文様「直弧文(ちょっこもん)」が刻まれた石障(せきしよう)が発見されたことで知られています。平成 21(2009)年に調査のため石室内に溜まっていた水を抜いたところ、直弧文の一部が剥がれ落ちていることがわかりました。古墳へ流れ込む雨水が石障に悪影響を与えることが推測され、平成 24(2012)年 11 月から 12 月にかけ、岡山市教育委員会は保護のために石室から石障を取り出し、保存のために岡山市埋蔵文化センターへ移送する作業に取り組みました。その難しい作業を克明に記録した映像作品です。

■「復元された千足古墳」



企画・制作 岡山シティミュージアム
完成 令和 5(2023) 年 12 月 1 日
長さ 8 分

(内容)千足古墳では平成 22(2010)年以来 13 年に及ぶ発掘調査と復元整備工事が終了し、令和 5(2023)年 4 月 30 日から一般公開されました。この古墳の発掘調査と復元整備に携わった岡

山市文化財課の西田和弘さんが自ら千足古墳を隅から隅までガイドする作品です。

=岡山シティミュージアム5階展示室では=

令和6年度「岡山市埋蔵文化財発掘調査速報展」を開催中です